

かがやく

ハーモニーひたちなか

第12号

2012.3発行

編集/発行

ハーモニーひたちなか

ひたちなか市女性生活課

ハーモニーフェスタ2011開催

テーマ「仕事もだいじ 家庭もだいじ 両方だいじにがんばろう」



▲鉄道模型ジオラマ展示



▲シルバーリハビリ体操



▲オリジナル読み聞かせ



▲親子でぬりえ



▲イベントPR隊



▲ポップコーン無料配布



▲団体活動パネル展示

平成23年11月26日(土)27日(日)、ワークプラザ勝田において、市とハーモニーフェスタ実行委員会が共同でハーモニーフェスタ2011を開催しました。

ハーモニーフェスタは、市民の方々に楽しみながら男女共同参画を知っていただくことを目的に開催する市の男女共同参画強調月間事業のひとつです。

今回のテーマは、仕事と生活(家庭生活や地域活動など)の両立を意味する「ワーク・ライフ・バランス」

とし、家族で参加できる催しを中心に企画しました。

当日は親子連れがたくさん来場し、笑顔で、ときには真剣な顔で催しに参加していました。

仕事は暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に育児・家事、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かせないものであり、その充実があってこそ豊かな暮らしが実感できるといえます。

皆さんも自らの仕事と生活の調和の在り方を考えてみましょう。

ハーモニーひたちなが フォーラム開催

ひにち 平成23年11月26日(土)
ところ ワークプラザ勝田 多目的ホール

「君は君のままで ～楽楽子育て応援プロジェクト～」

樹原さんは、自身の歌とピアノ演奏を織り込みながら、これまでの子育て経験をもとにした子育てのキーポイントや親という役割だけでなくひとりの人間として生きる姿勢の大切さを語られました。

子育てについては、待ち望んで母親になったものの、思い描いていた子育てと自分の時間を奪われるという現実の違いに最初はイライラしていたそうです。そのような時に「イライラすればするほどうまくいかない、子育ての時間も自分の時間になる」と発想を変えることで子育てが楽になったといいます。さらに、親子のコミュニケーション方法を学ぶこと



▲樹原さんの弾き語り

きばりょうこ 樹原涼子さんプロフィール

武蔵野音楽大学卒業後、CM、アニメ、ゲーム音楽などの作曲活動を始め、ピアノ教則本『ピアノランド』シリーズの著者でもある。

子育ての時間を楽しく過ごして欲しいという思いで、『樹原家の子育て』を出版、『楽楽子育て応援プロジェクト』と題し講演活動を全国で展開中。

また、歌手として大きな愛を歌う独特の世界と、魂に訴えかける声は聞く人を癒し、励まし、世代を超えてファンが広がっている。

により、子どものサインを逃さないことの大切さにも気づいたということでした。そして、子どもの夢を育てることを大事にしながら、子どもを自分の所有物と考えずに、子どもには子どもの人生を歩ませるようにしようと思ったということです。

また、ご自身の経験から、やりたいことを残して悔いるより、自分の人生を生きること、やりたいことは「いつかやる」ではなく「いますぐやる」ことの大切さを考えたそうです。樹原さんは、私たちに「子どもも親も『君は君のままで』ということを大切にしたい」というメッセージを送ってくださいました。

最後に、ご自身の結婚生活のエピソードとして、母から「恋愛は冷めるが尊敬は冷めない」と教えられ、パートナーの尊敬できるところを見つけるようにするとよいなど、夫婦円満の秘訣を話してくださいました。

ホールいっぱいの参加者たちが、樹原さんの美声による全6曲の弾き語りの魅力に引き込まれ、癒されるとはまさにこういうことだと感じられた、あっという間の1時間半でした。

ひたちなが市男女共同参画に関する作品表彰

性別にとらわれず、仕事と家庭の両方を大切にすることの重要性、一人ひとりが個性や能力を発揮できる社会をイメージした作品を募集した結果、349点の応募があり、次の6名が入賞しました。

最優秀作品は平成24年度の男女共同参画強調月間のテーマとし、啓発に活用します。

<最優秀作>

「認め合い 男女が作る いい社会」

菊池 大祐さん

<優秀作>

「決めつけないで！ もっと世界が広がるよ」

巖 淵 明美さん

「みんなある 自分らしさを 拓いてくチャンス」

小島 和美さん

<佳作>

「家庭も仕事も かけがえのない 私の一部 二つがあって私は輝く」

内田 泰代さん

「その個性 育てる社会に 花が咲く」

鈴木 盛雄さん

「家事分担 そして家族の幸せ満タン」

野澤 正好さん

ハーモニーフェスタ2011に参加して



▲ひたちなか踊りでダンスイング



▲体験！親子でうどんづくり

参加者からこのような感想が寄せられました。
 「子どもが大喜びでした」
 「うどんづくりに親子で参加できて楽しかったです。家でも子ども達とできることなのでまた作ってみたいです」
 「リボンストラップを作るのが難しくて涙が出たけど、あきらめずに完成できてうれしかった」



▲古布あそび



▲リボンでストラップづくり



▲牛乳パックで紙工作

ひたちなか市男女共同参画推進事業所表彰

男女が共に働きやすい職場環境づくりにむけて取り組んでいる事業所を表彰しました。
 引き続き、ひたちなか市と共に男女共同参画の推進に取り組んでいただきます。

<株式会社 幸田商店> (平磯町)

商品開発、品質管理部門に女性を積極的に活用するなど女性の能力活用を積極的に図っているほか、介護休暇を取りやすい会社の体制を整えています。

<有限会社 ベルワン> (東大島)

事業所内託児所の開設や、家族の介護及び子どもの看護休暇を認めているなど仕事と家庭の両立支援をしています。

<ユミノ金属工業株式会社> (松戸町)

男女の役割分担意識に基づく慣行の見直しや「セクシュアル・ハラスメント防止規程」を整備しています。



左から幸田商店、ユミノ金属工業、ベルワン

ハーモニーひたちなか

会員 河村 静子

「自分の道を拓く女性達」

平成23年10月29日(土)に県女性プラザ(レイクエコー)開館25年記念式典にハーモニーひたちなかの研修として参加しました。

記念講演では、映画「折り梅」などを制作した女性映画監督の草分け的存在の松井久子氏のお話を聴きました。男性社会そのものの映画監督社会の中で、リーダーシップを発揮することの難しさ。それでも逆境を乗り越え自分の道を拓く女性達を描くため頑張って5、6年ごとに映画を制作しているそうです。

午後は松井監督作「レオニー」を鑑賞しました。主人公のレオニーのことは、スケールの大きな美術家のイサム野口を育てた母というほどの知識はありませんでしたが、彼女が生きた時代背景を知って驚きました。彼女が英語を教えた明治政府高官がいた事、小泉八雲婦人や津田梅子氏達と交流があった事など初めて知りました。日本語がわからないなかで、自分の才能を活かし、力強く生きた彼女は素晴らしいと思います。

素敵な老後の迎え方～シリーズ高齢期の過ごし方②～

生きていくうえで必ず来るのが老いです。後悔しない老後を迎えて、楽しくイキイキと生きる。そのためにはどう考え、暮らせばよいのでしょうか。今回は「素敵な老後の迎え方」について感想が寄せられました。

「老後」って何歳からを言うのでしょうか？専業主婦だったらお孫さんが産まれた頃から、職業婦人だったら定年退職した頃から、と考えながら、ゴロ合わせて65歳頃（ローゴ）と私なりに決めてみました。80歳まで元気で自分のことを出来るとして、あと15年。古希を迎えた私にはあと10年。「少ないなあ」と思ってしまいます。

先日、高校時代のクラス会がありました。18名の集合写真を見ると、皆さんとってもハツラツとして良い笑顔で写っていました。お幸せな人生を過ごしてきたことが一目でわかります。でもそれは表面だけで、本当は色々大変だったことを近況報告の中で知りました。クモ膜下出血やガン、股関節の手術、

ハーモニーひたちなか 会員 横山 美恵子

ご主人とのお別れ、離婚、ご子息の交通事故、みんな乗り越えてきたのです。そしてあの笑顔。元気をいただきました。

老後とは、老（おい）と向き合うこと。今まで生きてきた自分の人生を背負って、明日からどう生きるかは、心がけ次第といたします。それはいつまでもしっかりした健康的な毎日を過ごすことかなと思います。100歳の日野原先生は「何か新しいことを始める気持ちがあれば老いることはありません」とおっしゃっていました。ボーイフレンドでも見つけましょうか。わたし。



ひたちなか市男女共同参画講座 「過去・現在・そして未来 ～江戸の暮らしに見る男女共同参画～」

講師

茨城大学 准教授 長谷川幸介 氏
江戸しぐさ・江戸文化研究会主宰 外岡 仁 氏

「男女共同参画」は幸せを創る

平成23年12月7日（水）大島コミュニティセンターにて男女共同参画講座が開催されました。

時代の流れの中で、「男らしさ」「女らしさ」が、また、社会背景によって「男は会社」「女は家庭」という役割分担がされてきたように思われます。しかし、150年遡れば人と人との思いやりを表現する「江戸しぐさ」がいきていて、農村・産業地域では、男女がきちんとお互いを認め、助け合う生活を営んでいたと聞きます。

時代の変化はあっても、いつの世も「男女共同参画は幸せを創る」そうです。

両氏のかけあい漫才のような楽しい講座で、最後に長谷川先生が「ひたちなか市らしい男女共同参画社会を創って下さい」と話されていました。

男女共同参画センターからの お知らせ

- ★トイレを改修して利用しやすくなりました。
- ★図書コーナーに新しい本が入りました。
 - ・尾木ママの「凹まない」生き方論／尾木直樹
 - ・女性のための防災BOOK／an・an特別編集
 - ・積極的その日暮らし／落合恵子
 - ・お江戸の結婚／菊地ひと美
 - ・それ、恋愛じゃなくてDVです／瀧田信之
ほか多数
- ★センターでは各種講座を企画・開催しています。詳細は市報でご案内いたします。

お問合せは男女共同参画センターまで

TEL&FAX：029-354-0167
E-mail：danjo282@juno.ocn.ne.jp

編集後記

震災から1年。厳しい被災地の暮らしを思うと胸が痛む。この災害で改めて自然への畏れ、人間のおごりなどを感じた人も多いと思う。ハーモニーひたちなかが行なった震災に関するアンケートからみなさんのどんな思いが見えてくるのだろうか。窓から見える海は、今日もベタ風、光が溢れている。

(K・Y)